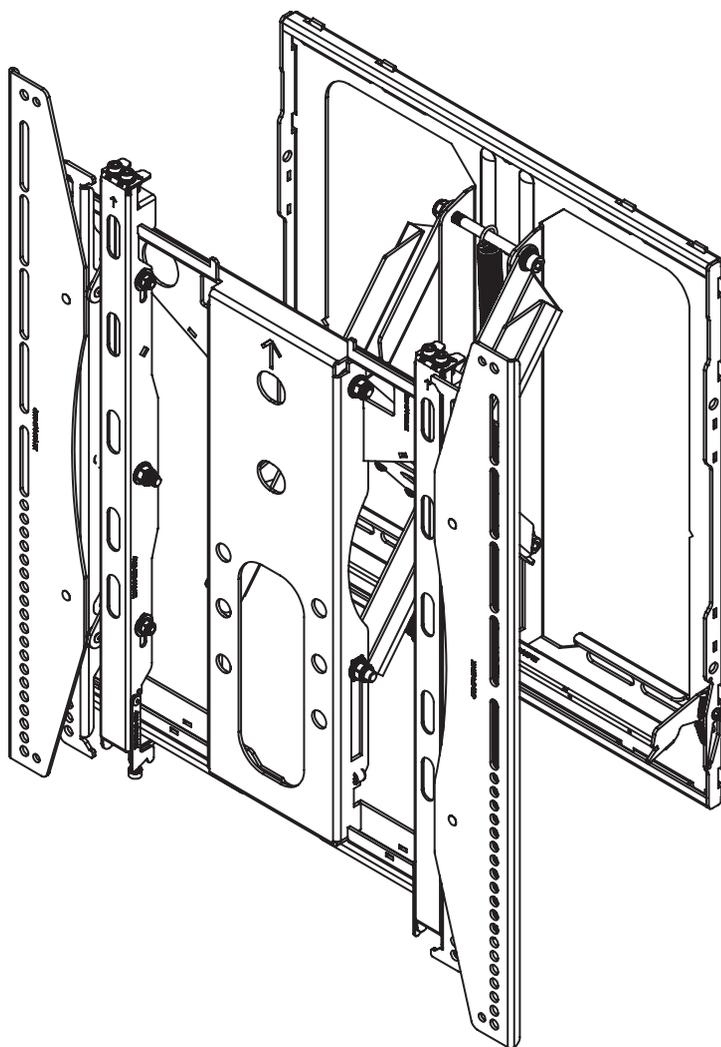




PFW 6885

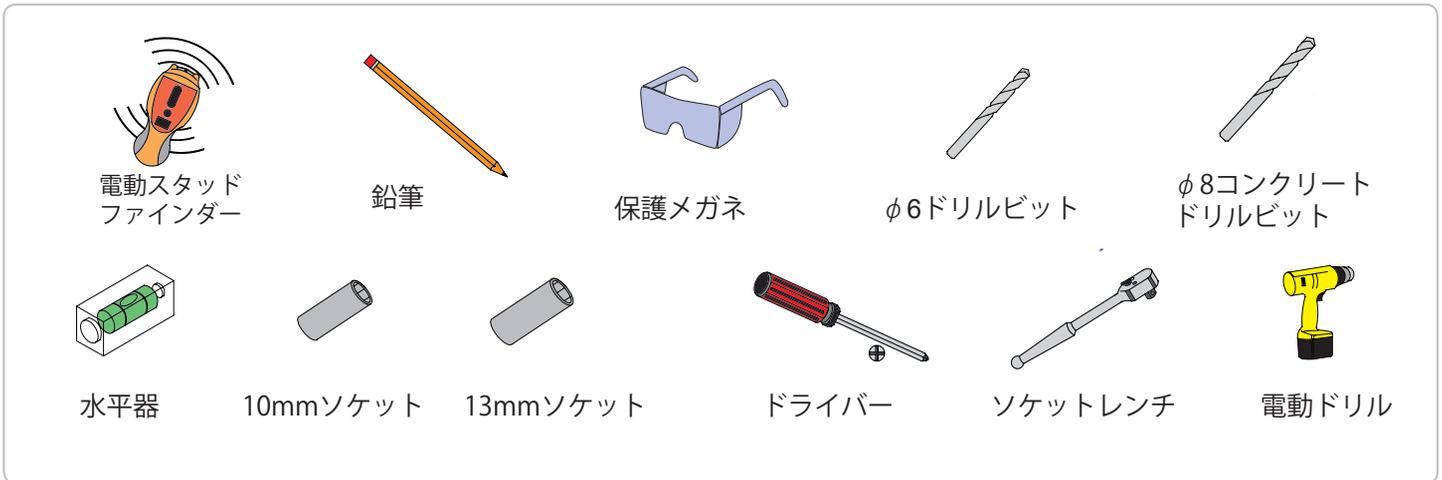
大型マルチ用壁付ハンガー 設置説明書



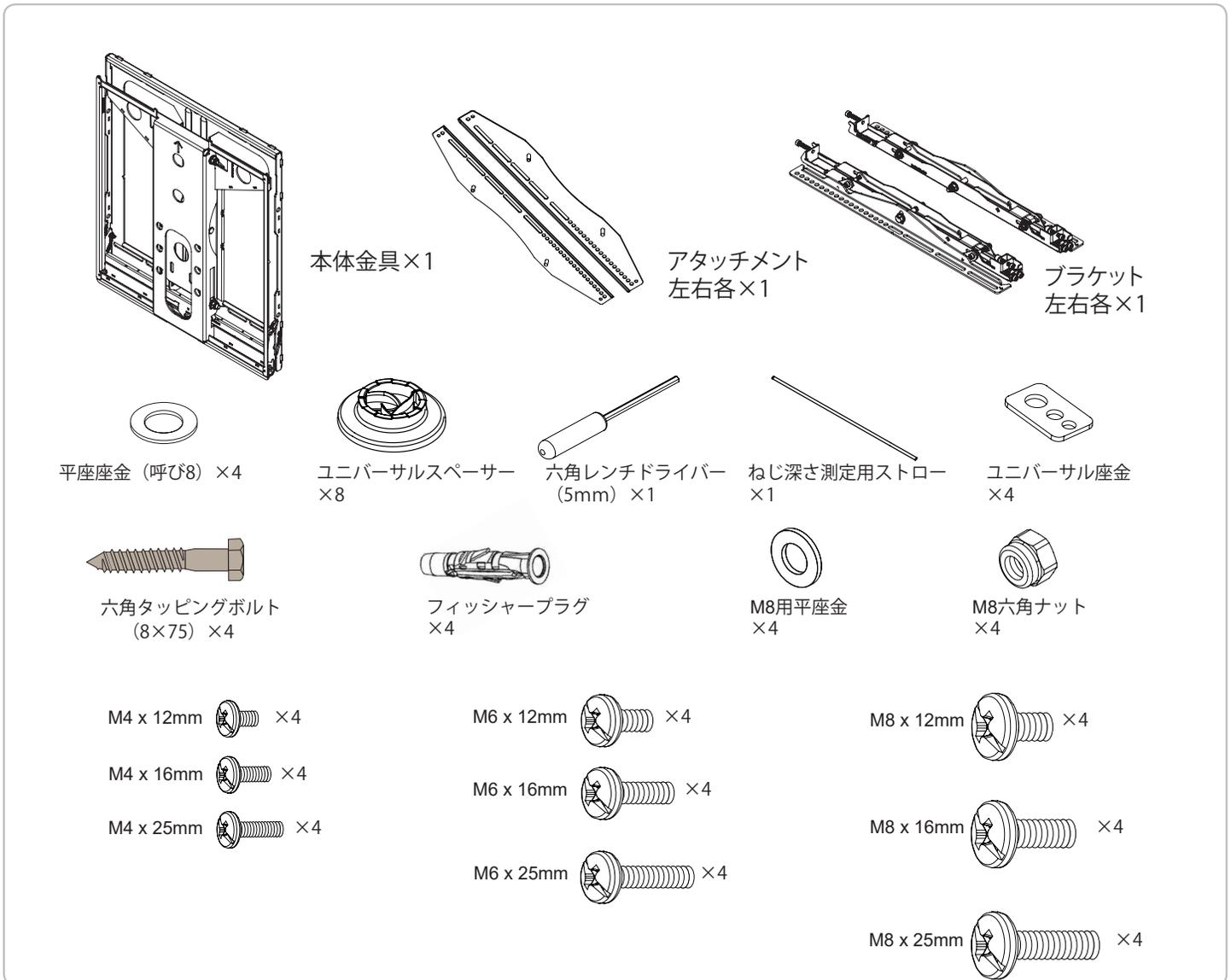
最大搭載質量 :45kg
対応画面サイズ:37~65型

PFW6885

設置に必要な器具



パーツリスト



安全上のご注意

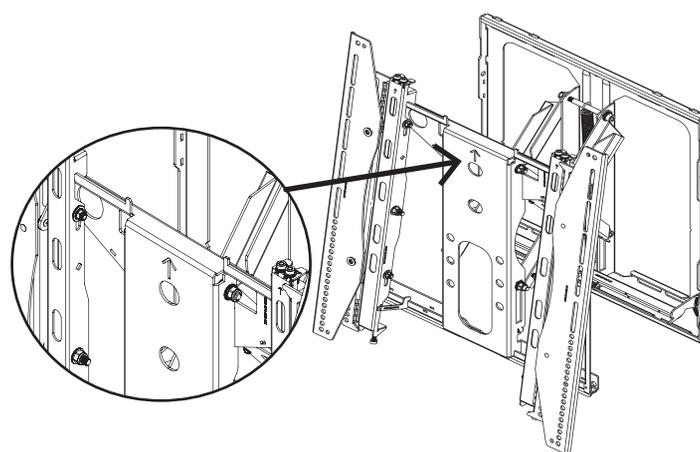
	本製品の設置作業を行う前に、本書の設置手順を十分に確認してください。設置後も、いつでも参照できるように本書は保管してください。
	設置作業は、本書の手順を十分に参照の上、施工業者が行ってください。深刻な物損事故、場合によっては怪我や死亡につながる事故の原因となる恐れがあります。
	設置中は、常に安全確認を行ってください。事故を防止するために、設置に適切な機器、ツールを使用してください。
	想定する製品本来の使用方法に反する使用、あるいは無許可の付属品や改造に起因する損傷を保証できません。 また、そのような製品本来の使用方法に反する使用、あるいは無許可の付属品や改造に関連して発生する損害、請求、要求、訴訟に対し、責任を負いません。
	設置作業は、2名以上の施工業者によって行ってください。フラットパネルの落下や取り扱い上の不具合から、人身傷害や物的損害を引き起こす可能性があります。
	壁の間柱や天井スタッドに取り付ける場合は、スタッドファインダー等を利用して、取り付けネジを壁の間柱や天井スタッドの中央に固定されていることを確認してください。
	木製スタッドに装着する際、最大で1.6cmの石膏ボードが使用されていることを推奨します。
	取り付け環境に注意してください。取付面に対して穿孔あるいは掘削する場合、常に電気配線が壁の中に無いことを確認してください。電気配線に接触した場合、重大な人身事故を引き起こす可能性があります。
	取付面に対して穿孔や掘削する場合、常に水道や天然ガスのパイプが壁の中に無いことを確認してください。水道や天然ガスのパイプに接触した場合、重大な人身事故や物的損害を引き起こす可能性があります。
	本製品は、屋内でご使用ください。本製品を屋外で使用した場合、製品の故障、あるいは重大な人身事故や物的損害を引き起こす可能性があります。
	高熱源の近く、可動する場所、振動や衝撃が加わる可能性がある場所に設置しないでください。

警告

下記内容を守らないと、傷害を負う恐れがあります。
また本製品やディスプレイが落下し破損する恐れがあります。

- コンクリート面以外に設置の際は必ず下地補強にお取り付けください。
- お客様の安全のため取付場所の強度には本製品の荷重に耐えうるよう十分ご注意の上設置施工をお願い致します。
- 取付場所の構造や強度は設置ごとで異なりますので施工業者様が調査の上最適な施工方法を選択し施工してください。
- 定期的に点検を行ってください。
- 本製品にぶら下がったりゆすったりしないでください。
- 物をかけないでください。
- ディスプレイ以外を搭載しないでください。

上下の確認



設置の際に方向を確認してください。

PFW6885

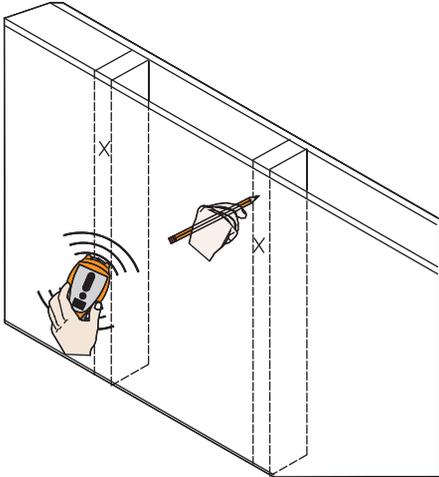
設置作業

安全上のご注意



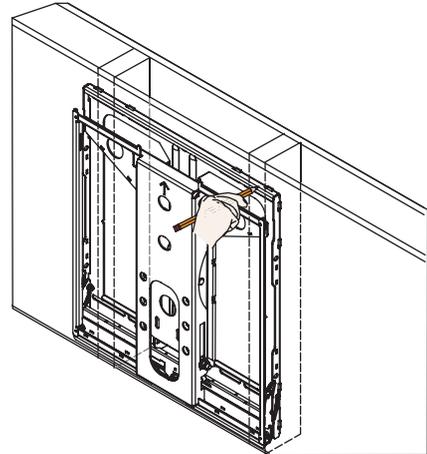
2名以上の作業員で設置作業を行ってください。

1



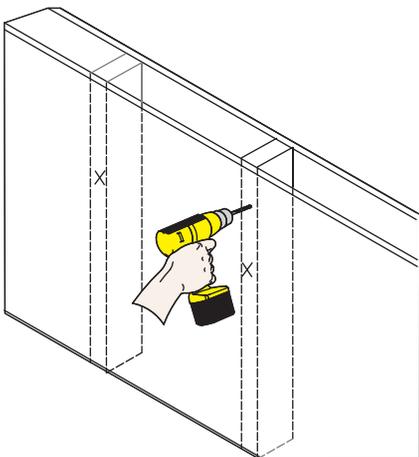
- 1) スタッドファインダーを使用して設置予定箇所付近の下地補強の中心を正確に確認してください。
- 2) 確認した中心に、鉛筆で印を付けてください。

2



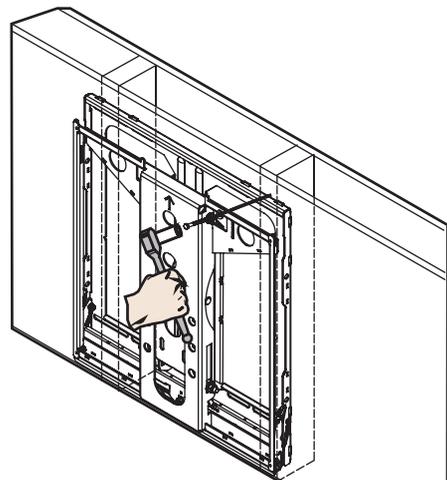
- 1) 本製品を取付予定の壁にあてます。
- 2) 本製品の取付穴位置が下地補強の中心にくるように調整します。
- 3) 本製品を水平にします。
- 4) 右上の取付穴位置に印を付けます。

3



6mm ドリルを使用し右上のねじ止め位置の印の中心に下穴を開けてください。

4



- 1) 右上のねじ止め穴位置に合わせて本製品を壁に当てます。
- 2) 六角タッピングボルト (8×75) 平座金 (呼び 8) で固定します。
- 3) 13mm ソケットでタッピングボルトを締めます。

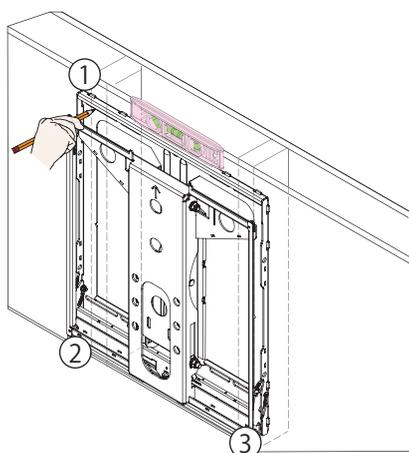


タッピングボルトの締め付けすぎにご注意ください。

設置作業

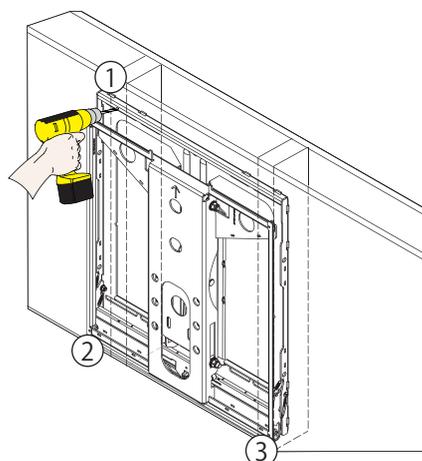
 2名以上の作業員で設置作業を行ってください。

5



- 1) 本製品が水平になるように位置を調整してください。
- 2) まだねじ止めされていない右上以外の3ヶ所に下地補強の中心を確認した上で鉛筆で印をつけてください。

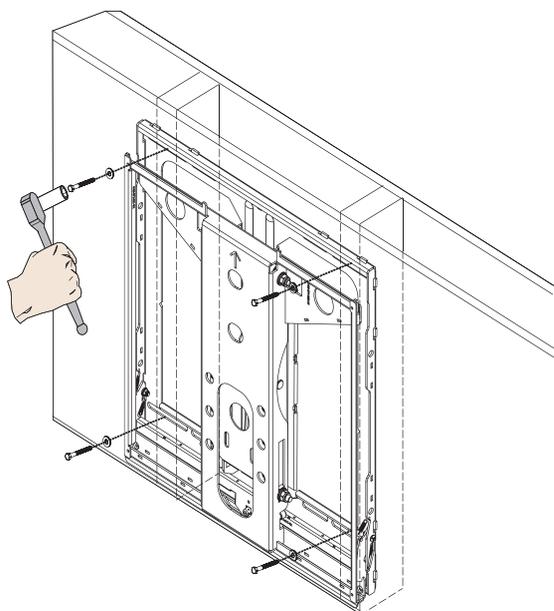
6



- 1) 3ヶ所の印それぞれに6mmのドリルを使用し下穴を開けてください。

 1名が本機を支えもう1名が穴を開けます。

7



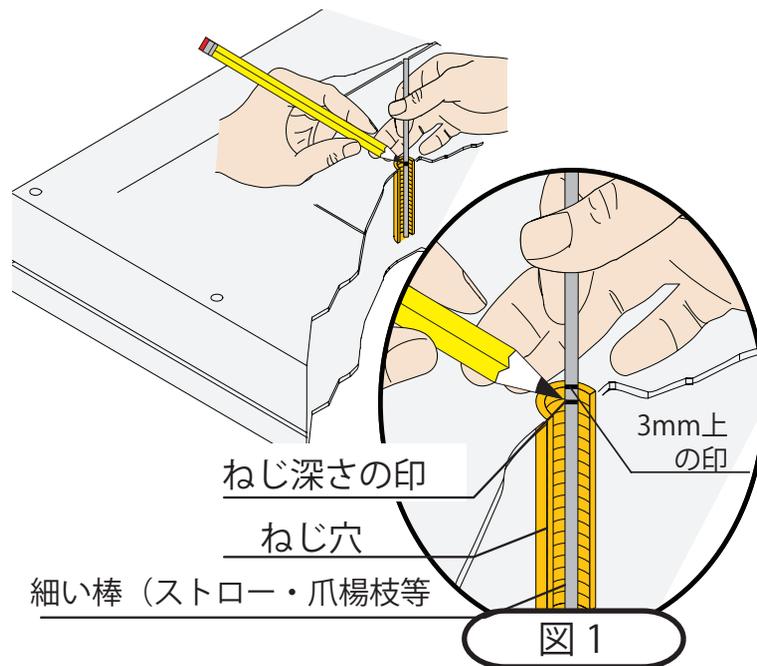
- 1) 本製品をあてがった状態で六角タッピングボルト(8x75)に平座金(呼び8)を取り付けて3ヶ所の下穴に挿入してください。
- 2) 13mmソケットをソケットレンチに取り付けてすべての六角タッピングボルトを締めこんでください。

 六角タッピングボルトを締めすぎないでください。
誤った方法で設置した場合、人身傷害や物的損害を引き起こす可能性があります。

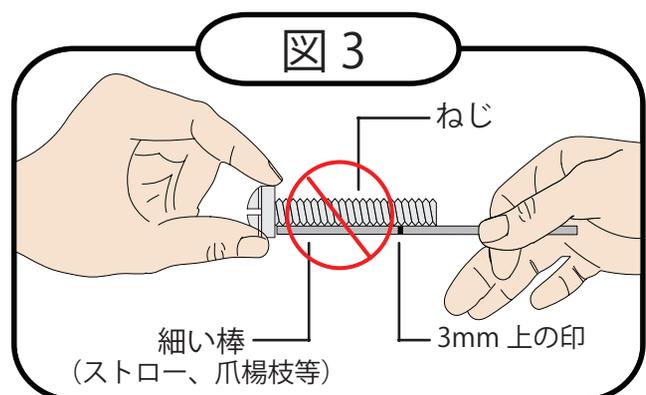
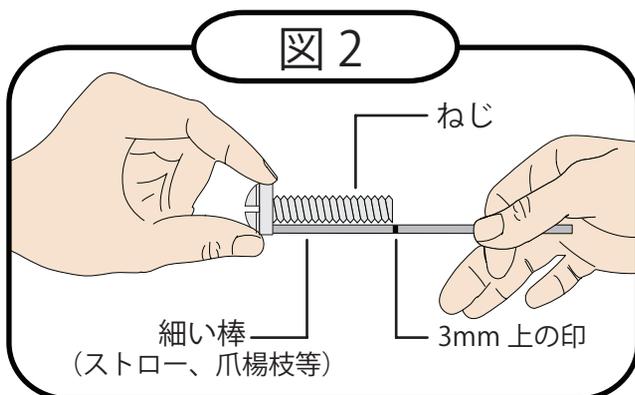
左右ブラケットの取付け

取付ねじの確認

- 1) 細い棒（ストロー、爪楊枝等）を、ディスプレイ背面のねじ穴に差し込んでください。
- 2) 鉛筆を使用して、挿入した細い棒にねじ穴の深さを示すように印を付けてください。
- 3) ねじ穴の深さを示す印から 3mm 上にさらに印を付けてください。（図 1 参照）
- 4) 細い棒の印を使用してディスプレイの残りのねじ穴の深さを確認してください。



- 5) 1～4 を参考にディスプレイ取付に適したねじを選んでください。

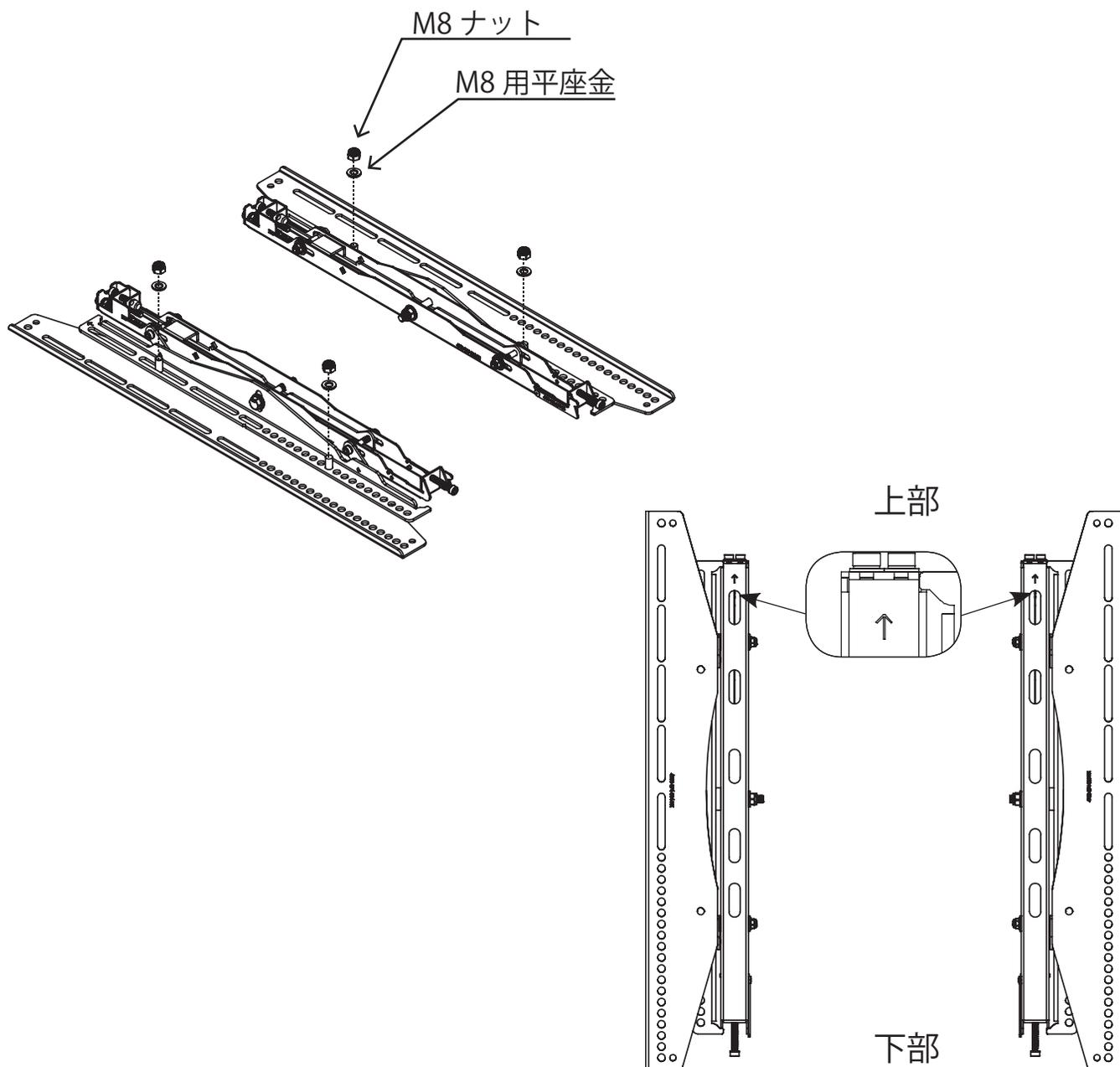


左右ブラケットの取付け

アタッチメントの取付け

ディスプレイ取付ねじ径が M6 もしくは M8 で取付穴の高さ方向ピッチが 600 の場合アタッチメントを取り付けることでディスプレイの搭載が可能になります。

アタッチメントの取り付けは、付属の M8 ナットと M8 用平座金をご使用ください。



PFW6885

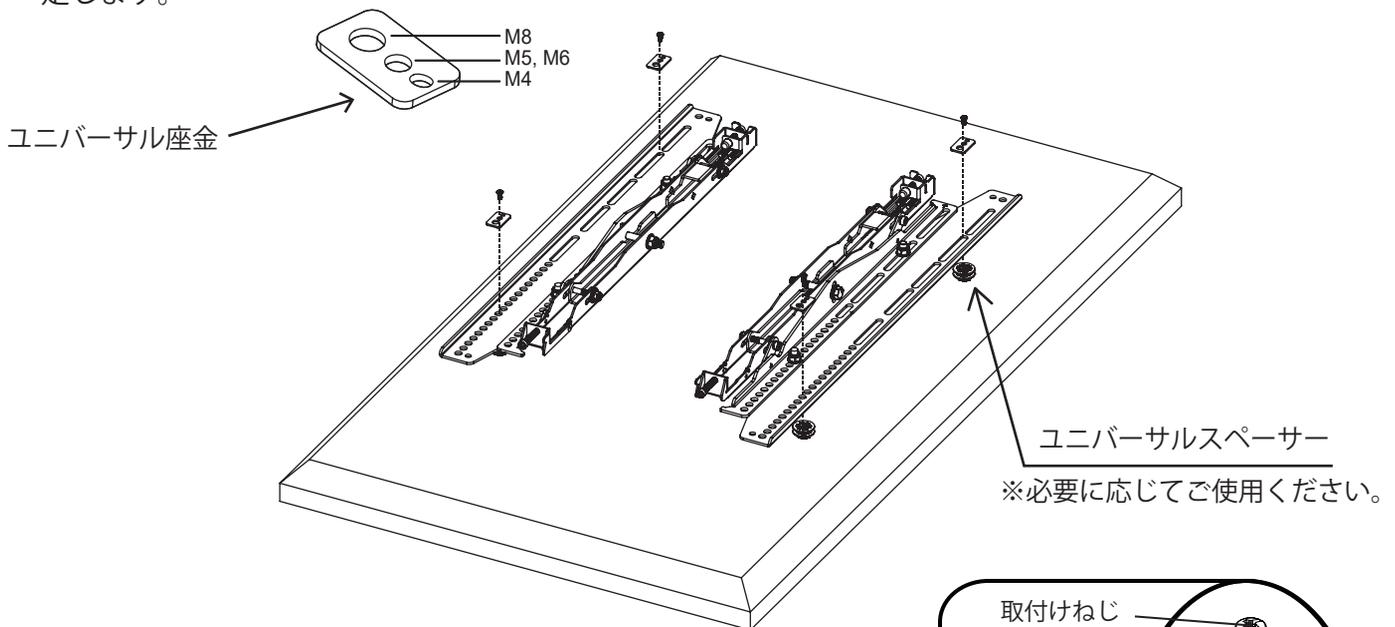
左右ブラケットの取付け

ユニバーサル座金の取付け

本作業の前に、本説明書「取り付けねじの確認」において確認した取り付けねじをご用意ください。

付属のユニバーサル座金は、M4、M6、M8 の各ねじに対応しています。

- 1) 取付けるディスプレイを、平らで柔らかな場所に画面を下に向けて置いてください。
- 2) ディスプレイの背面の取り付けねじの数と場所を確認します。
- 3) 取り付けブラケットとディスプレイの背面にあるねじ位置を合わせてください。
- 4) 各取り付けブラケットに2カ所以上の固定箇所を確保しディスプレイに各取り付けブラケットを固定します。



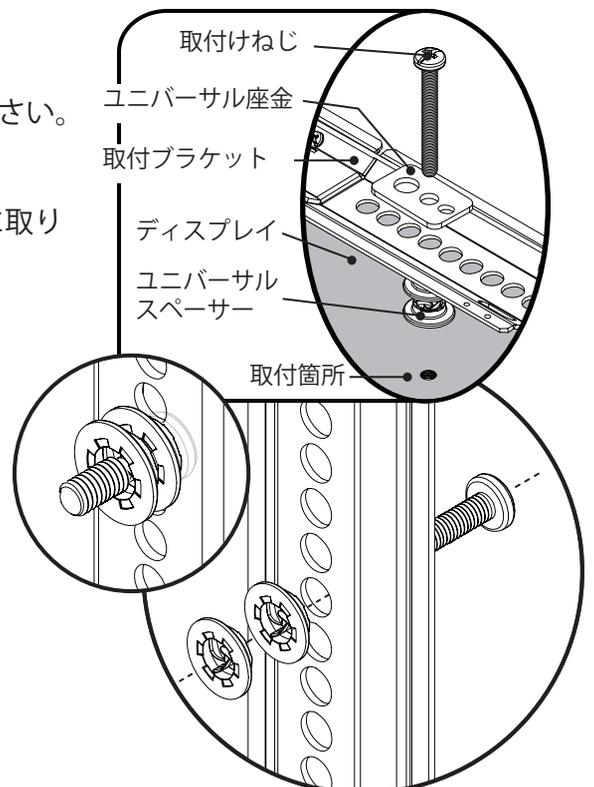
! ディスプレイの背面に不必要な力を加えないようにしてください。ディスプレイの故障の原因となる場合があります。

! ユニバーサル座金は、図のように、ねじとブラケットの間に取り付けてください。

ユニバーサルスペーサーの取付け

ユニバーサルスペーサーを使用することにより凹んでいディスプレイや凹凸のある箇所に取り付けブラケットを取り付けることができます。

ユニバーサルスペーサー1個につき、取り付けブラケットとディスプレイの隙間を約6mm埋めることができます。



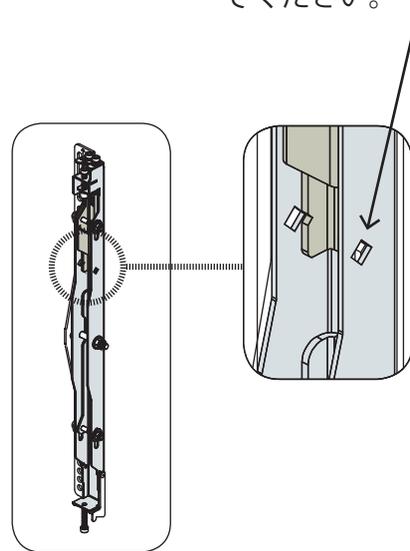
ディスプレイの取付け

本体への取付け

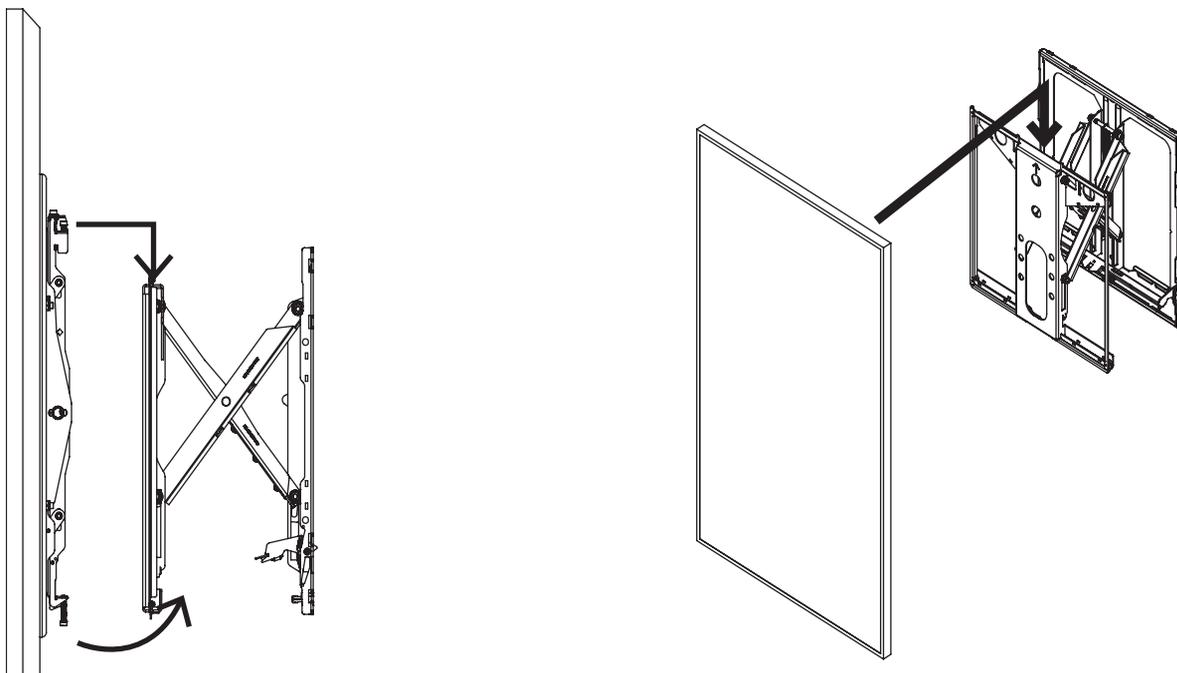
 取り付けブラケットは、工場出荷時に標準的な位置設定が行われています。
(右図の(注)を参照ください。)

注 位置設定はディスプレイの設置前に行う必要があります。
工場出荷時に標準的な設定は行われていますが取付前に確認してください。

 本作業は2名以上の作業者で行ってください。
両方の取り付けブラケットの上部と下部のフックが確実に本製品の上下の取り付けレールに装着されていることを確認するまで支えているディスプレイを放さないようにしてください。



- 1) 壁に取付けた、本製品の取り付けレール上下より高い位置にディスプレイを持ち上げてください。
- 2) そのまま本製品に近づけ、ゆっくりとディスプレイを下げてください。
- 3) 本体の取り付けレールに、取り付けブラケットの上部と下部をかみ合わせてください。



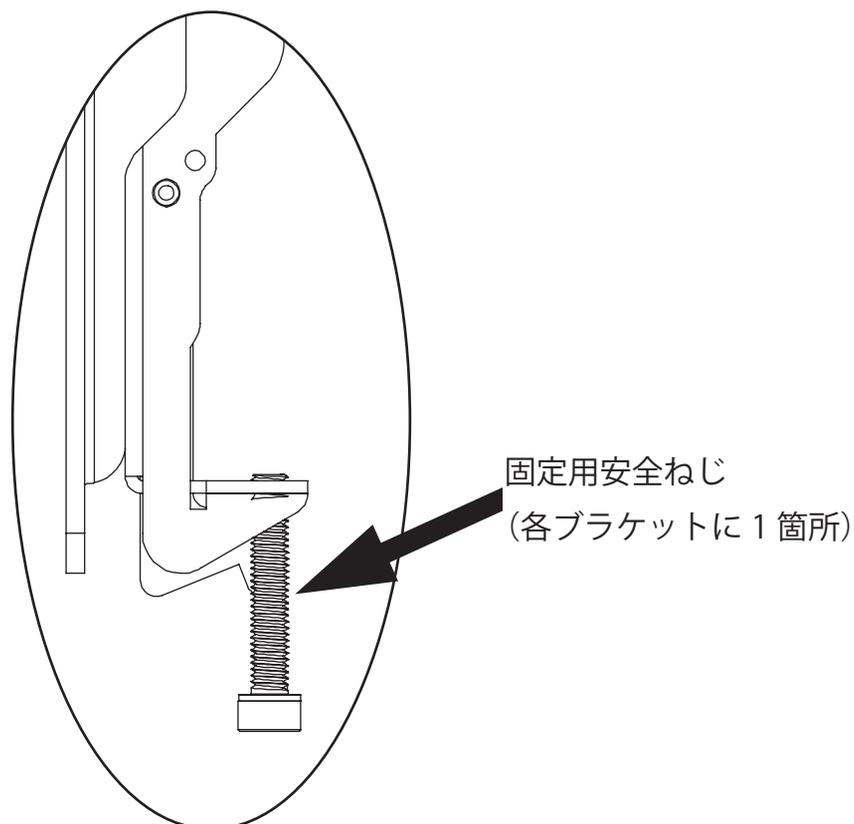
PFW6885

ディスプレイの取付け

固定安全ねじの取付け

 ディ스플레이の脱落防止のために固定用安全ねじを備えています。

- 1) 取り付けブラケットのそれぞれの下部に取り付けられている固定用安全ねじの位置を確認してください。
- 2) 固定用安全ねじを付属の六角レンチを使用して締めてください。

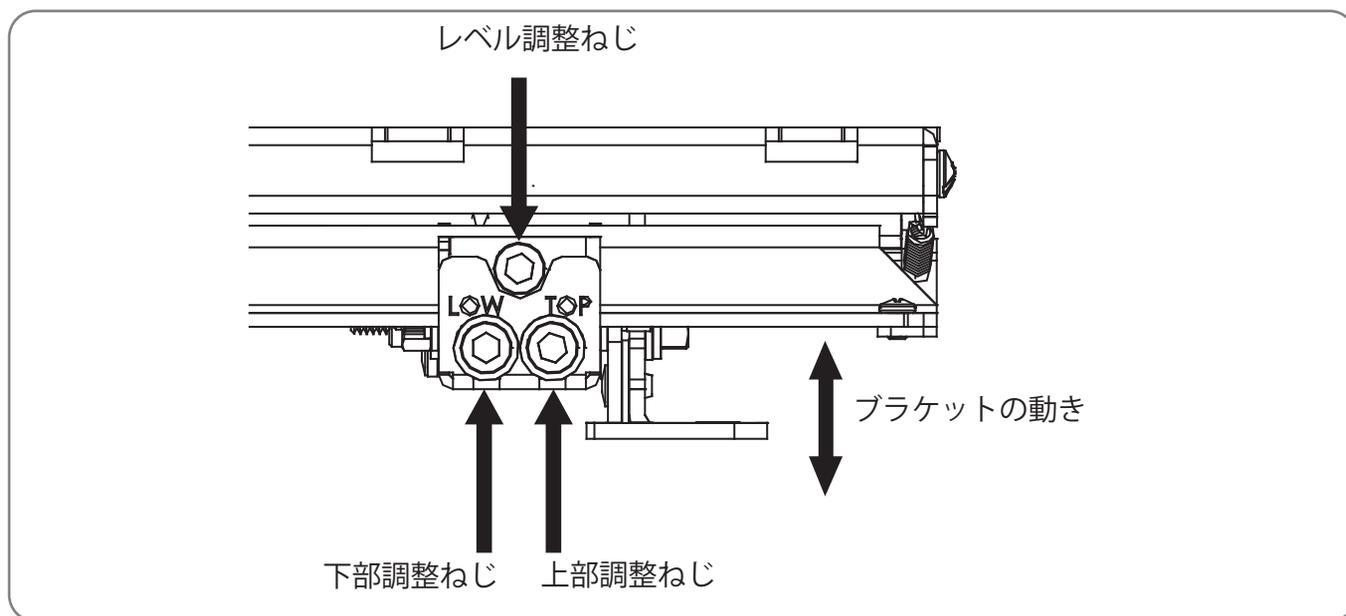


 必要以上に固定用安全ねじを締めないでください。

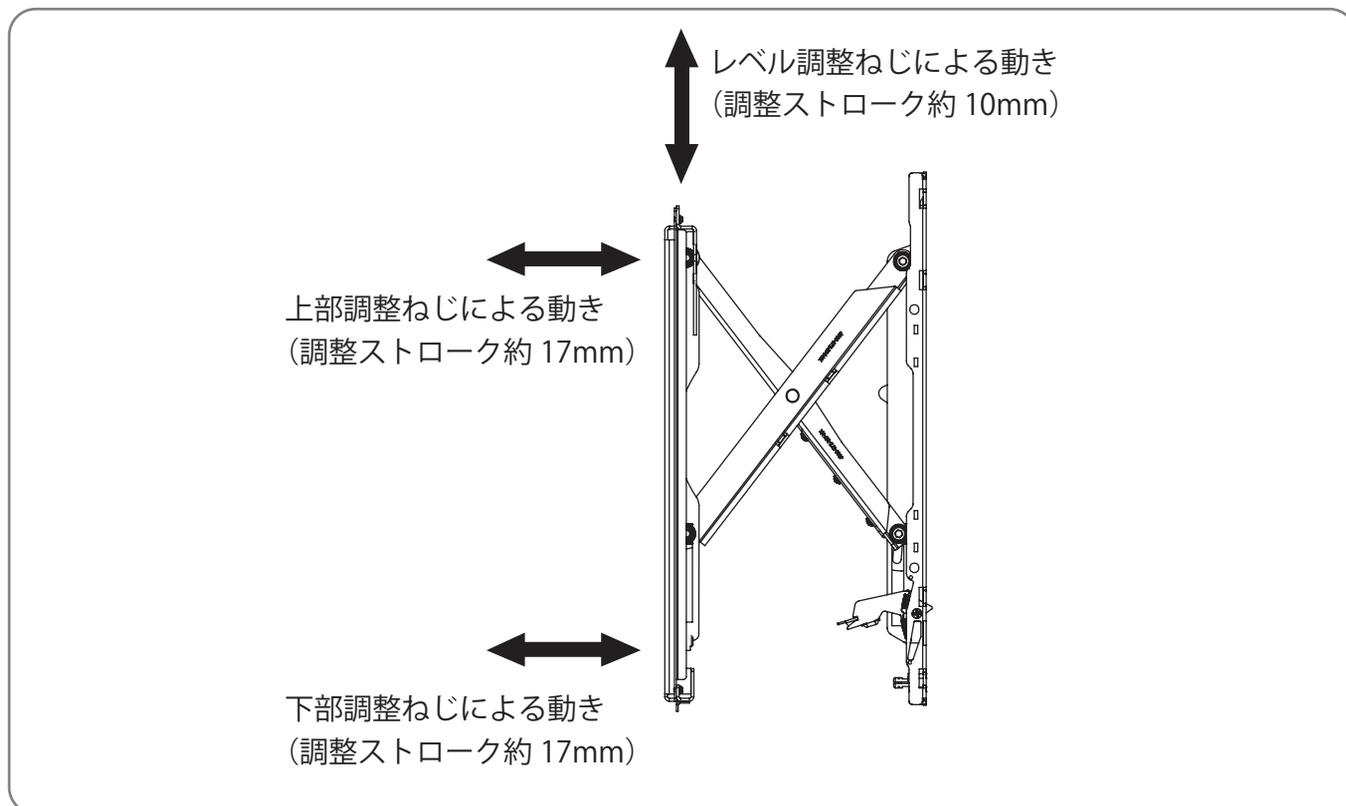
ディスプレイの取付け後の調整

本製品は、ディスプレイ取り付け後の微調整を行う機構を各取り付けブラケットに備えています。付属の六角レンチドライバーを使用して調整してください。

! 調整を行う前に必ず固定用安全ねじが緩んでいることを確認してください。



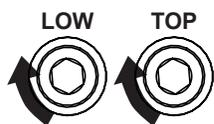
! ねじの調整範囲は限られています。
ねじ穴の損傷を避けるため調整ねじを締め付けすぎないでください。



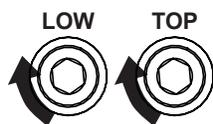
PFW6885

上部・下部調整ねじによる調整例

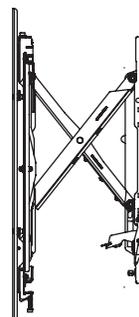
MOVE INWARD (奥側に調整する)



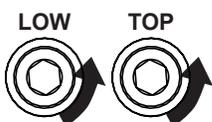
左側
ブラケット



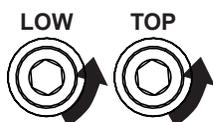
右側
ブラケット



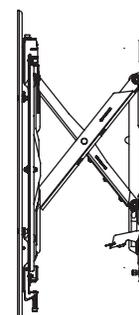
MOVE OUTWARD (手前側に調整する)



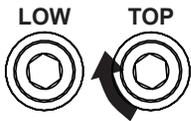
左側
ブラケット



右側
ブラケット

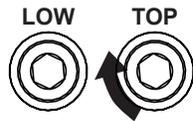


TILT UP (チルトを上向きに調整する)

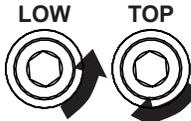


左側
ブラケット

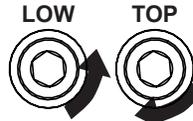
または



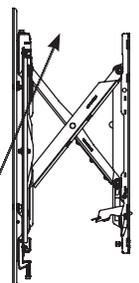
右側
ブラケット



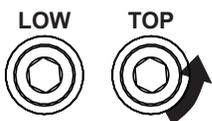
左側
ブラケット



右側
ブラケット

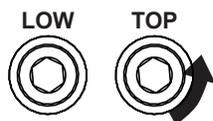


TILT DOWN (チルトを下向きに調整する)

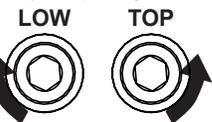


左側
ブラケット

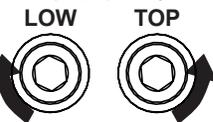
または



右側
ブラケット



左側
ブラケット



右側
ブラケット

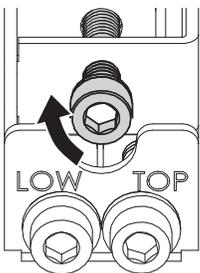


- ・ 上部・下部調整ねじは、時計回りでブラケットが閉じ、反時計回りでブラケットが開きます。
- ・ 上部・下部調整ねじの各調整ストロークは約 17mm となります。
- ・ 調整方法は一例です、左右ブラケット別の調整やレベル調整ねじの動きと組み合わせることで様々な微調整ができます。

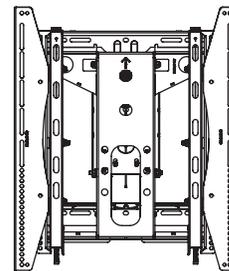
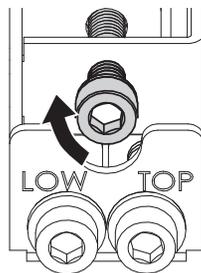
レベル調整ねじによる調整例

LEVEL UP (水平上昇)

左側ブラケット

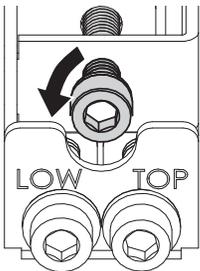


右側ブラケット

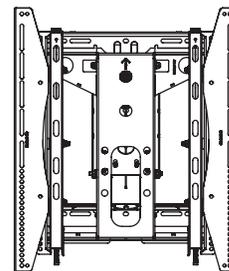
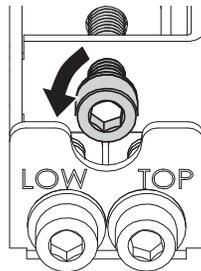


LEVEL DOWN (水平下降)

左側ブラケット

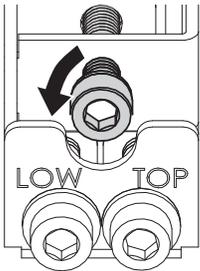


右側ブラケット

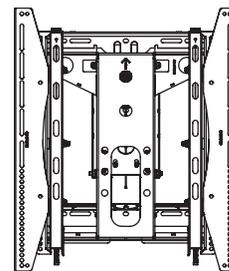
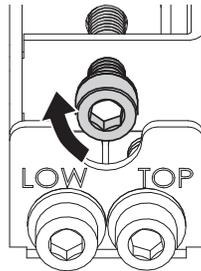


ROTATE LEFT (右肩上げ)

左側ブラケット

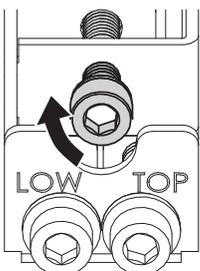


右側ブラケット

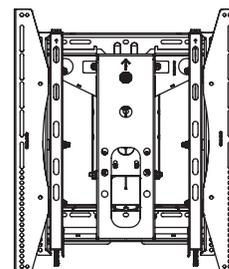
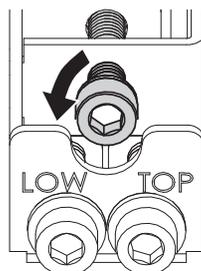


ROTATE RIGHT (左肩上げ)

左側ブラケット



右側ブラケット



- レベル調整ねじは、時計回りでブラケットが上がり、反時計回りでブラケットが下がります。
- レベル調整ねじの調整ストロークは約 10mm となります。
- 調整方法は一例です、上部・下部調整ねじの動きと組み合わせることで様々な微調整ができます。

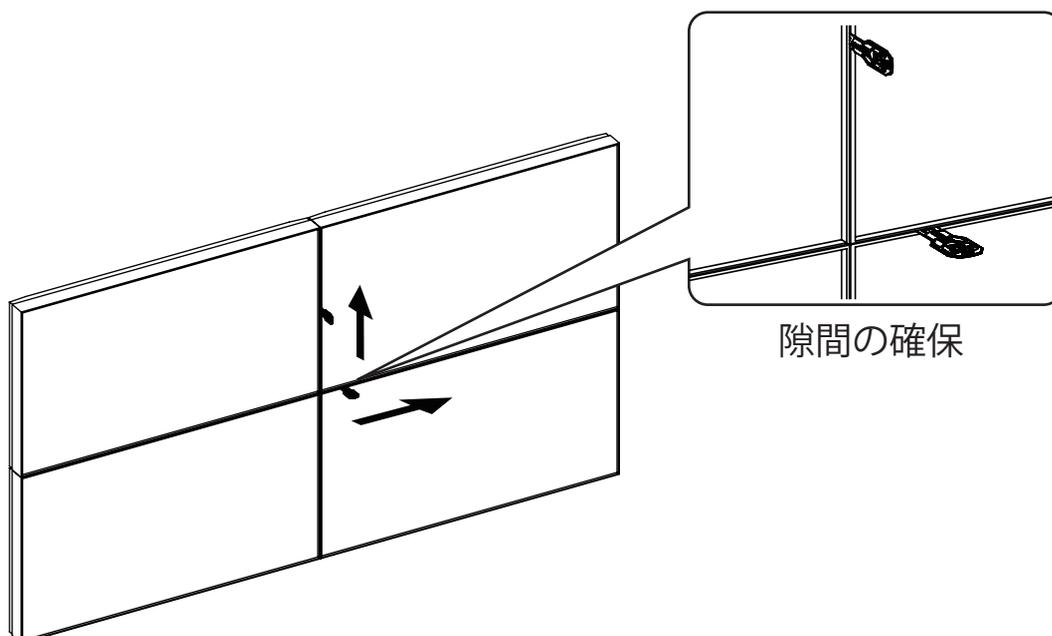
PFW6885

ディスプレイのマルチ設置について

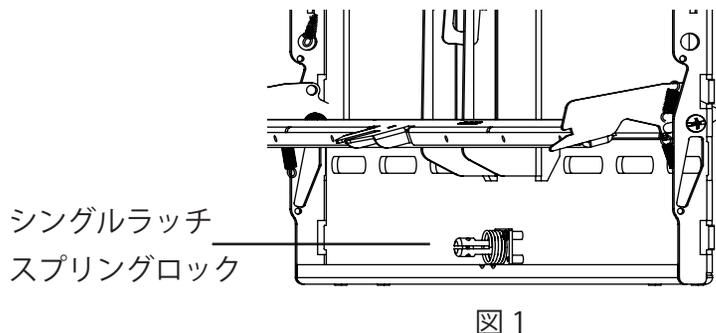
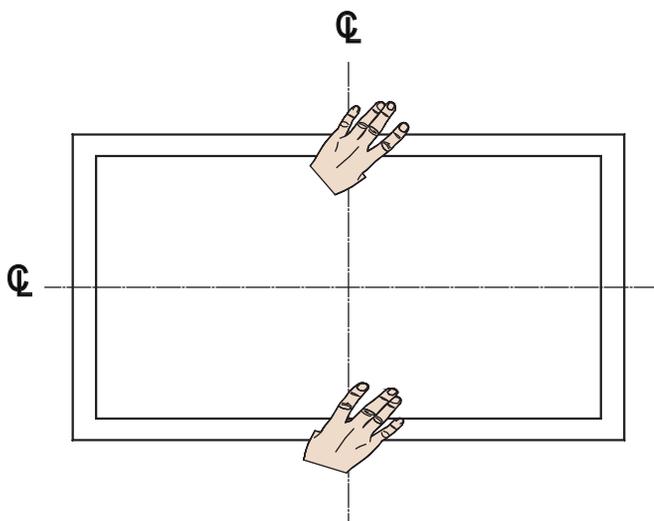


ディスプレイをマルチ設置する場合、ディスプレイとディスプレイの隙間を少し設けてください。

隙間が無い場合、ディスプレイが損傷する可能性があります。



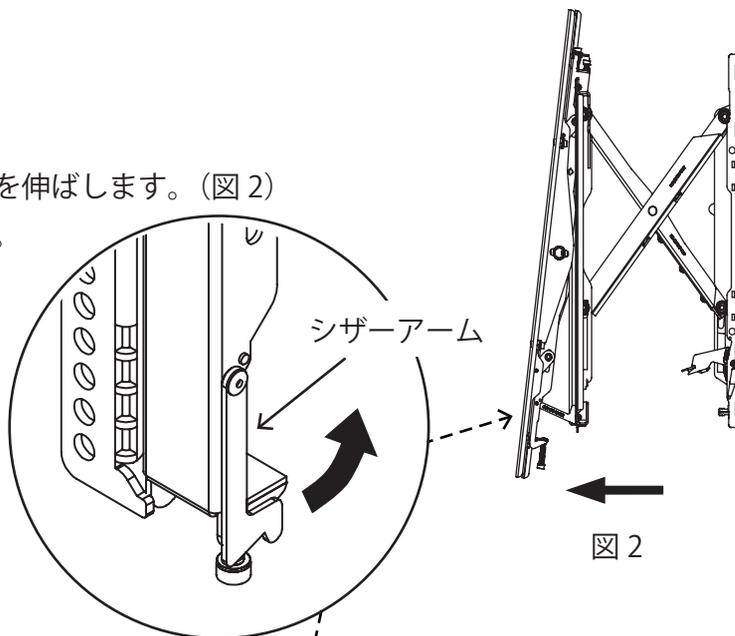
メンテナンスについて



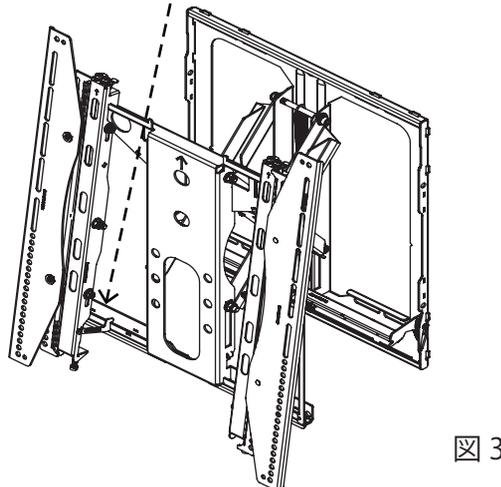
1) ディスプレイの上下を均等に押しシングルラッチスプリングロックを解除します。(図 1)

2) 本機の前面をゆっくりと引きシザーアームを伸ばします。(図 2)

3) 両ブラケットの固定用安全ねじを緩めます。



4) ディスプレイの下側を少し持ち上げシザーアームを本体下側の取付金具に乗せます。(図 2、図 3)



この機能はディスプレイをマルチに設定している際のメンテナンス時にご使用ください。メンテナンス後は必ずシザーアームを元の位置に戻し固定用安全ねじを締めてください。

保証書

品名 **大型マルチ用壁付ハンガー PFW6885**

お客様名：

取扱店：

ご購入年月日：

住所 / TEL：

保証期間

ご購入の日より

本体

1 年

1. 保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。

(1)この保証書のご提示がない場合。

(2)保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。

(3)ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。

(4)お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。

(5)火災や天災等による故障および損傷。

(6) 消耗品および付属品の交換の場合。

2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

■本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。

※この保証書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店または下記テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。

輸入元 **株式会社 オーエスエム**

連絡先：株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL：0120-465-040 FAX：0120-380-496

(受付時間：平日 9：00～17：50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail：info@os-worldwide.com